

デマから広がる偏見や差別

～ネット上にウソの情報が流れたら～



一緒に考えよう

- ・デマは、いつ・どんな時に広がっていくのだろうか？
- ・正しい情報を見極めるために必要な心がまえは？

「いわれない偏見や差別」は、繰り返されてきた歴史があり、特に大きな災害など、社会が不安定な時によく見られます。現在のコロナ禍でも「感染者への差別が怖い→検査をためらう→感染拡大を招く」といった、負のスパイラルが問題です。差別や偏見、それは私たちが感じる「不安や恐れ」が原因といわれています。この感情をコントロールするには、正しい情報を身に付け、起きている現状に共感できる「おらかな心」を皆が持つことが大切です。人は一人ひとり置かれている状況も考え方も違う、その前提をもとに分かり合おうと努力する姿勢、それが「おらかな心」なのです。

ネット上で間違った情報を見つけたことは ある ない

フィルターバブルとは？

好きな情報だけに囲まれていると...

仲間に囲まれ、自分の見たい情報だけ追ってしまふSNSでは「フィルターバブル」という落とし穴に注意が必要。これは、考え方のバブル(泡)の中で孤立し、他の情報をシャットアウトしてしまう現象を指す言葉です。ネット上では「自分がいま何を見ていないか?」という逆の視点が大切です。でも自分の情報が偏っているかどうかは、なかなか判断しづらいもの。普段から周りの家族や友だちとも、色々と思いを交わしてみましょう。

